**3 入試情報システム仕様明細**

**Ⅰ．入試情報システム**

**１．入試設定情報管理**

（１）入試種別・要件を年度毎に管理することができ，毎年発生する入試要項の変更に対応できること。また，前年度の設定情報を次年度に一括でコピーできること。

（２）年度毎に指定校情報管理することができること。また，前年度の指定校情報を次年度に一括でコピーできること。

（３）大学入試センターが提供する高校マスタをシステムマスタとして利用できる機能を有すること。

（４）日本郵便が提供する郵便番号データをシステムマスタとして利用できる機能を有すること。

（５）既存の入試種別を複写して新しい入試種別を作成する機能を有すること。

（６）入試種別に関連したマスタ設定(出願、試験配点　等)を一括で複写する機能を有すること。

**２．志願者情報管理**

（１）志願者(志願票)情報の登録・更新・削除を行える機能を有すること。

・志願者を登録する際は、画面上での直接登録およびCSV形式のデータを一括で登録できること。

・学籍番号を入力する事で学務システムの個人情報を志願者情報としてコピーすることができること。

・受験番号を入力する事で以前の受験者情報を今回の志願者情報としてコピーすることができること。

（２）入試種別・学科・会場単位で受験番号を自動発番する機能を有すること。

（３）志願者情報として下記の項目を管理できること。

　　　　　　（個人情報）

* 整理番号、受験番号
* 入試種別、日程区分
* 氏名（漢字、カナ）、生年月日、性別
* 住所（郵便番号、住所、都道府県、電話番号、電話種別、緊急連絡先、電話種別、E-Mail）
* 特記事項１、特記事項２

　　　　　　（出身情報）

* 出身高校コード、設置、課程、学科

　※高校コードはコードまたは名称から検索して入力できること

* 高校卒業年月日
* 高校成績（最大９科目）、段階
* 高校担任名
* 出身大学情報

　　　　　　（出願学科情報）

* 受験学部・学科、志望順位、選択科目（最大３科目）  
  ※上記項目は最大５つの設定ができること。
* 共通テスト受験番号、共通テスト試験年度
* リスニング免除情報
* 試験会場、試験教室

　　　　　　（入学状況／保護者情報）

* 入学決定学部学科、学年、手続状況区分
* 手続き書類受領区分、書類受付日、入学金区分、入学金受付日、授業料、授業料受付日
* 入学許可書番号、入学辞退日
* 進学先学籍番号

　　　　　　（保護者情報）

* 氏名（漢字、カナ）
* 住所（郵便番号、住所、電話番号、電話種別）
* 続柄

　　　　　　（その他情報）

* 自由設定区分（最大８）
* 自由設定テキスト（最大８）

（４）インターネット出願、OCR志願者データの一括取込み機能を有すること。

（５）試験教室の定員設定に伴い試験教室を振り分ける機能を有すること。

（６）志願者の情報をCSV形式で出力できる機能を有すること。

（７）志願者検索機能を有すること。

　　　　　　詳細については以下に示す。

* 1. 検索条件項目は次の項目を網羅すること

漢字氏名（先頭一致、全一致、部分一致）、カナ氏名（先頭一致、全一致、部分一致）、受験番号（先頭一致、全一致、部分一致）、性別、生年月日、高校コード（先頭一致、全一致、部分一致）、高校名（先頭一致、全一致、部分一致）、入試種別、学部学科

* 1. 検索結果から選択した学生の志願者情報入力画面へ遷移する機能を有すること。
  2. 検索結果データ（検索結果一覧に表示された内容）をCSVに出力できること。

（８）志願者の住所情報を、住所ラベル等へ印字する機能を有すること。

（９）入試種別、受験番号、発行区分、種別の範囲指定及び、受験番号での個別指定で受験票の出力が行える機能を有すること。また、同じ志願者を２度発行させないように発行済みフラグで制御できる機能を有すること。

（10）志願者の名寄せ機能を有し、併願者リストを出力できること。なお名寄せ項目はカナ氏名、生年月日、電話番号、高校、高校卒業年月を選択できること。

（11）高校評定値を画面から一覧形式で登録できる機能を有すること。

（12）志願者特記事項を画面から一覧形式で登録できる機能を有すること。

（13）下記帳票を出力できる機能を有すること。

　　　　　　　①志願者名簿

　　　　　　　　・入試種別別、学部学科別、高校別、会場別に出力できる機能を有すること。

　　　　　　　　・明細の印字順は、受験番号順及び、カナ氏名順を選択できること。

　　　　　　　②合格者名簿

　　　　　　　　・入試種別別、学部学科別、高校別、会場別に出力できる機能を有すること。

　　　　　　　　・明細の印字順は、受験番号順及び、カナ氏名順を選択できること。

　　　　　　　③手続き者名簿

　　　　　　　　・入試種別別、学部学科別、高校別、会場別に出力できる機能を有すること。

　　　　　　　　・明細の印字順は、受験番号順及び、カナ氏名順を選択できること。

　　　　　　　④辞退者名簿

　　　　　　　　・入試種別別、学部学科別、高校別、会場別に出力できる機能を有すること。

　　　　　　　　・明細の印字順は、受験番号順及び、カナ氏名順を選択できること。

　　　　　　　⑤スカラシップ合格者名簿

　　　　　　　　・入試種別別、学部学科別、高校別、会場別に出力できる機能を有すること。

　　　　　　　　・明細の印字順は、受験番号順及び、カナ氏名順を選択できること。

　　　　　　　⑥志願者ラベル

　　　　　　　　・志願者、合格者、入学者、入学金受領者を選択して出力できる機能を有すること。

　　　　　　　　・受験番号の個別指定できる機能を有すること。

　　　　　　　　・印字順を受験番号順、学科・受験番号順、会場・受験番号順から選択できること。

　　　　　　　　・宛名を受験者本人もしくは保護者のいずれかを選択できること。

　　　　　　　　・机上用の受験番号ラベルを作成できること。

　　　　　　　⑦志願者の受付人数集計表

　　　　　　　　・入試種別・学科単位に出力できること。

　　　　　　　　・受付日別と選択科目別に出力できること。

⑧面接シート

⑨会場（試験教室）別受験者名簿、および受験番号一覧表

⑩指定校受付人数一覧表（指定校受付人数オーバーも把握できること）

**３．共通テスト処理**

（１）大学入学共通テスト利用選抜の成績請求科目を管理する機能を有すること。また、請求科目の管理は学部単位あるいは学科単位に設定可能なこと。

（２）過年度生用に過去３年分の共通テスト成績請求科目も管理できること。

（３）大学入試センターに請求を行う成績請求データの作成を行う機能を有すること。また、過年度生向けのレイアウト出力にも対応できていること。

（４）成績請求データのダンプリストを出力する機能を有すること。

（５）大学入試センターより提供される成績データを取り込む機能を有すること。

（６）国語得点は古文・漢文含む全範囲200点満点と、大門別(近代以降の文章のみなど)の得点に対応できていること。また、それらの得点圧縮等の換算も設定で可能なこと。

（７）英語得点はリスニングを含む得点と、リーディングのみの得点管理が可能なこと。また、それらの得点圧縮等の換算も設定で可能なこと。

（８）大学入試センターへ提出する以下の合格者データが作成可能なこと。

　　・合格者データ1：学校推薦型選抜または総合型選抜に合格した者

※学校推薦型選抜合格者は“課す推薦”、“課さない推薦”でフォーマットを変えること

　　・合格者データ2：前期日程で一般選抜に合格した者

　　・合格者データ3：中・後期日程で一般選抜に合格した者

　　・合格者データ4：中・後期日程で一般選抜に合格のうち、入学手続きをしなかった者

　　　　　　　　　　　一般選抜追加合格者で入学手続きをしなかった者

※上記合格者データ作成時に、確認リストも出力可能なこと

（９）大学入試センターから以下の合格状況資料データを受取り、合格状況資料が作成可能なこと。

　　・合格状況資料1：学校推薦型選抜及び総合型選抜入学手続者等に係わる合格状況資料

　　・合格状況資料2：前期日程試験入学手続者に係わる合格状況資料

　　・合格状況資料3：一般選抜合格者等に係わる合格状況資料

　　・合格状況資料4：学校推薦型選抜及び総合型選抜入学手続者等に係わる合格状況資料

※上記合格状況データから、他大学で合格している者は欠格者として扱い、当該大学に合格させないこと

（10）大学入試センターから出願状況データを受取り、出願状況が作成可能なこと。

　　・出願状況資料：一般選抜願者の国公立大学併願状況

※上記出願状況データから、合否判定資料に併願情報を表示させることが可能なこと

**４．自動採点処理**

（１）正答マスタを登録する機能を有すること。

（２）問題形式には以下に対応可能なこと。

①一問一答形式(一問に対して解答が一つ)

②複数選択択一(一問に対して解答が複数)　※問題設定ミス前提

③複数組み合わせ択一(解答とｸﾞﾙｰﾌﾟ区分内の順番が全て正答と一致した場合正解とし配点される)

④複数組み合わせ順不同個別一致

(解答にｸﾞﾙｰﾌﾟ区分内の正答を選択した場合正解とし各解答毎配点される)

⑤複数組み合わせ順不同全一致(ｸﾞﾙｰﾌﾟ区分内の正答と一致した解答全てが正解とした場合配点される)

⑥全員正解

⑦スキップ

（３）OMR解答データを取り込む機能を有すること。

（４）OMR解答データの受験番号重複・存在チェックや読み込み漏れをチェックする機能を有すること。

（５）解答内容の修正を行える機能を有すること。

（６）記述式得点用の採点簿を出力できる機能を有すること。

（７）記述式得点を画面またはCSVから一括登録できる機能を有すること。

（８）OMR解答データと記述式得点を合わせて採点を行い、科目合計点を算出する機能を有すること。また、自動採点機能は上記（２）の問題形式に対応していること。

（９）全ての解答内容、採点結果、合計点を一覧形式で確認できる帳表を出力できる機能を有すること。

（10）選択肢別解答率表を出力できる機能を有すること。

**５．得点入力処理**

（１）小問別に得点を入力できる機能を有すること。その得点入力機能は入試種別、日程別、会場、科目単位にCSV形式でデータを登録可能なこと。

（２）教科別に得点を入力できる機能を有すること。その得点入力機能は入試種別、日程別、会場、科目単位にCSV形式でデータを登録可能なこと。

（３）科目別に得点を入力できる機能を有すること。その得点入力機能は入試種別、日程別、会場、科目単位にCSV形式でデータを登録可能なこと。

（４）CSV形式で得点データを登録する際にはエラーチェック機能を有すること。

（５）入試種別、科目単位に志願者の得点あるいは評価を画面から一括で登録・更新・削除できる機能を有すること。入力する際、一覧形式で表示する志願者は学科、受験番号の範囲で絞り込むことが可能なこと。

（６）入試種別、科目単位に志願者の小問別の得点を画面から一括で登録・更新・削除できる機能を有すること。

（７）CSVあるいは画面で得点入力を行う際、選択科目を考慮し、試験科目に関係の無い志願者は除かれた志願者一覧から入力できること。

（８）全欠席者あるいは科目単位欠席者を登録できる機能を有すること。

（９）上記で得点入力した内容を帳票にて確認できる機能を有すること。

（10）評定値を科目得点化する機能を有すること。得点化する評定値は、全体の評定値、指定教科の評定値などを設定で変更可能なこと。

（11）評定値を得点化する際には、10倍あるいは20倍等、得点換算可能なこと。

（12）面接結果と面接備考を入試種別単位で画面から登録する機能を有すること。

（13）下記帳票をグラフ出力できる機能を有すること。

　　　　　　　① 科目別得点分布表

　　　　　　　② 小問解析科目合計点結果表

**６．合否判定処理**

（１）入試種別単位に総合点算出・順位計算を行える機能を有すること。

（２）共通テスト利用選抜の選択科目で２教科・２科目以上受験した場合、高得点の科目を合否判定に使用する機能を有すること。

（３）共通テスト英語リスニング免除者については、リスニングを除く得点を得点換算できる機能を有すること。

（４）乗算係数、除算係数より得点換算して総合点を算出し順位計算を行える機能を有すること。それらの設定は、入試種別、学科、科目単位に設定可能なこと。

（５）総合点同点時は、面接結果や評定値を用いて順位を分けることができること。

（６）科目毎の難易度調整等により科目得点を一律加減算及び中央値補正ができる機能を有すること。また科目毎の偏差値計算ができる機能を有すること。

（７）入試種別、学部学科ごとに合格ラインを設定できる機能を有すること。また、スカラシップ合格人数、補欠人数を設定できる機能を有すること。

　　　合格ラインは。合格最低点または合格順位を設定可能なこと。

（８）上記設定から合否やスカラシップ合格、補欠順位を自動で付ける機能を有すること。

　　　欠席者は合格にしないこと。

　　　欠格者(他大学合格)は合格にしないこと。

（９）合否判定資料を出力できる機能を有すること。尚、合否判定資料出力には以下機能を有すること。

　　　　　　　・入試種別、学部学科別に出力可能

　　　　　　　・受験番号の範囲指定が可能。また受験番号順か順位順か選択可能

　　　　　　　・合否結果を印字する／しないを指定可能

　　　　　　　・発行日を変更可能

　　　　　　　・一次選考用、二次選考用(一次選考合格者のみ)と抽出条件の変更が可能

　　　　　　　・他日程併願情報を出力可能

　　　　　　　・他大学併願情報を表示可能なこと

　　　　　　　・特記事項を表示可能なこと

（10）受験者数・平均値表、最高・平均・最低点一覧を出力できる機能を有すること。

（11）学科別に総合得点分布表を出力する機能を有すること。

（12）特待生・スカラシップ入試等の不合格者を一般推薦入試に移行する機能を有すること。

（13）同一人物が複数の入試を受験した場合(受験番号が別々)、採点結果を複写することが可能なこと。採点結果の複写条件は、カナ氏名、生年月日、電話番号、高校が同じで、同じ科目を受験している受験生とする。なお、欠席情報も複写可能なこと。

（14）複数の入試をまとめて合否判定資料に出力可能なこと。(複数入試一括判定)

　　　例えば、推薦入試Ａ、推薦入試Ｂ、推薦入試Ｃ志願者を、推薦入試として1枚の合否判定資料に載せる。順位も推薦入試全体で付番する。

（15）入試種別ごとに合格・補欠入力用のCSV形式データをダウンロードできる機能を有すること。

（16）上記、処理で出力され編集されたCSV形式データを一括で取込む機能を有すること。また、同時にエラーのチェックを行う機能を有すること。

**７．合格処理**

（１）合否照会システム用（ﾃﾚﾌｫﾝｻｰﾋﾞｽ、HTML用）に合否データをダウンロードできる機能を有すること。

（２）下記帳票を出力できる機能を有すること。

　　　　　　　①選考結果通知書　※以下機能も有すること

・受験番号の範囲指定、個別指定が可能なこと

・対象者は志願者全員、合格者のみ、補欠者のみ、不合格者のみ、欠席者を除く不合格者のみを指定可能なこと

・一次選考、二次選考用に出力対象者を変更可能なこと

・文言はマスタ設定により自由に変更可能なこと。また、１つの入試種別で複数パターンの文言を設定可能なこと。

・帳票タイトルはマスタ設定で変更可能なこと

・発行日、文書番号を印字可能なこと。また発行日や文書番号は画面指示にて変更可能なこと。

・各学科の合否結果に加え、スカラ合否、補欠順位を印字可能なこと。

　　　　　　　②補欠合格通知書(補欠合格者に対しての通知)

　　　　　　　③合否結果一覧(入試種別単位に志願者全員の合否結果を出力)

　　　　　　　④全不合格者確認リスト(入試種別単位に不合格者のみを出力)

　　　　　　　⑤合格者受験番号掲示用リスト(入試種別単位に合格者の受験番号を出力)

　　　　　　　⑥スカラシップ該当者受験番号掲示用リスト(入試種別単位にスカラシップ合格者の受験番号を出力)

　　　　　　　⑦合格通知書　※以下機能も有すること

・受験番号の範囲指定、個別指定が可能なこと

・学科の範囲指定が可能なこと

・印字順は、受験番号順、学科・受験番号順、順位順を指定可能なこと

・帳票タイトルはマスタ設定で変更可能なこと

・文言はマスタ設定により自由に変更可能なこと。また、通常合格の他にスカラシップ合格、スカラ不合格一般合格、２年次または３年次編入合格の文言を設定可能なこと。それらの設定を元に合格通知を印刷可能なこと。

・印刷する際に一枚一枚に対して学長印の印影を印字可能なこと。

・帳票タイトルはマスタ設定で変更可能なこと

・発行日、文書番号を印字可能なこと。また発行日や文書番号は画面指示にて変更可能なこと。

　　　　　　　⑧高校宛選考結果通知　※以下機能も有すること

・高校の範囲指定、個別指定が可能なこと

・入試種別の範囲指定が可能なこと

・文言はマスタ設定により自由に変更可能なこと。また、複数パターンの文言を設定可能なこと。

・一次選考、二次選考用に出力対象者を変更可能なこと

・対象者を現役者のみに抽出条件を絞ることも可能なこと

・発行日、文書番号を印字可能なこと。また発行日や文書番号は画面指示にて変更可能なこと。

・成績非開示希望者にはアスタリスクでマスキング可能なこと

　　　　　　　⑨受験者別入試成績印刷(得点開示として、受験者の入試結果を単票形式出を出力)

（３）合格者のデータを学納金管理システムへ受け渡す機能を有すること。

（４）学納金管理システムへ受け渡すデータの確認リストを出力できる機能を有すること。

**８．入学手続・統計処理**

（１）入試種別ごとに入学手続入力用のCSV形式データをダウンロードできる機能を有すること。

（２）上記、処理で出力され編集されたCSV形式データを一括で取込む機能を有すること。また、同時にエラーのチェックを行う機能を有すること。

（３）入試区分、学科(専攻・コース)単位に合格者の一覧が画面に表示され、入学手続情報(手続状況、書類受領区分、入学辞退日)を一括登録可能なこと。

（４）入金情報(入学金・授業料)を学納金管理システムから取り込む機能を有すること。

（５）入学手続台帳(手続状況手書き記入用リスト)を出力する機能を有すること。

（６）入学手続状況を確認するリストを出力する機能を有すること。

（７）入学手続状況の人数集計表を入試種別、学科別に確認するリストを出力する機能を有すること。

（８）入学許可証の発行（受験番号範囲指定・個別指定）を行える機能を有すること。また、再発行を行える機能を有すること。

（９）下記帳票を出力できる機能を有すること。

　　　　　　　①入学試験人数集計表

入試種別・学科別に志願者、受験者、合格者、入学者の人数集計表とその総合計を出力。

各明細は、全体人数、女子内数、浪人内数も出力可能なこと。

　　　　　　　②入学試験分析人数集計表

都道府県あるいは高校別に入試種別・学科別に志願者、受験者、合格者、入学者の人数集計表と総

合計を出力。

各明細は、全体人数、女子内数、浪人内数も出力可能なこと。

各明細は、入試種別・学科単位か合計行のみか選択出力可能なこと。

　　　　　　　③受験者数集計表

入試種別・学科別に志願者数、受験者数、合格者数、補欠者数と倍率を出力。

　　　　　　　④現役・浪人受験結果一覧

入試種別・学科別に現役・浪人受験者、合格者数とその比率を出力。

　　　　　　　⑤出身高校別志願者一覧

当年度の入試結果(試験結果)とその合否を高校別に出力。

成績非開示希望者にはアスタリスクでマスキング可能なこと。

　　　　　　　⑥出身高校別志願者履歴

当年度含む過去の入試結果(試験結果)とその合否を高校別に出力。

　　　　　　　⑦出身高校別学生一覧表

出身高校別に志願～入学～卒業までの状況を一覧表で出力。

在学生は学務システムと連携し学年別の単位数と出力。

　　　　　　　⑧高校別実績表

高校別に志願者、受験者、合格者、手続者人数を過去５年の履歴で出力。

各明細は、集計行のみか入試種別・学科単位に出力か選択可能なこと。

　　　　　　　⑨出身大学等実績表

出身大学等別に志願者、受験者、合格者、手続者人数を過去５年の履歴で出力。

　　　　　　　⑩入試種別別人数集計表

入試種別・学科別に志願者、受験者、合格者、手続者人数を高校卒業年別に出力。

　　　　　　　⑪高校、出身大学等ラベル

高校あるいは出身大学等の宛名ラベルを出力。

　　　　　　　⑫指定校推薦依頼文書印刷

高校宛の指定校推薦依頼文書を出力。

高校、学部学科毎に指定校割当人数を設定可能なこと。

文言はマスタ設定により自由に変更可能なこと。また、複数パターンの文言を設定可能なこと。

　　　　　　　⑬入学手続者総合得点分布表

合格者の総合得点分布表を出力可能なこと。

入学金納入者、手続完了者、入金率、手続完了率の分布も表示。

受験者、合格者の最高・平均・最低点も表示すること。

（10）統計資料用のCSV形式データを出力可能なこと

　　　　　　統計資料用データには、志願者の全情報(個人情報、試験情報、合格・手続情報)

　　　　　　過年度データも出力可能なこと。

**９．学務システム連携機能**

（１）入学手続者(入学予定者)に対して学籍番号を自動で一括付与する機能を有していること。

　　　入学予定者の条件は、書類、入学金、授業料の３つの区分を見て判断可能なこと。

　　　また、３つの区分を入学予定者の判断に含める／含めないを設定可能なこと。

　　　全ての帳票の入学者判断は上記に沿って行うこと。

（２）学籍番号付与はマスタにて学科・入学学年単位に開始番号を設定可能なこと。

（３）学籍番号は英数10桁までの範囲で自由に設定可能なこと。

（４）入学手続者を学務システムへ転送できること。また、入試種別データ、高校データ、大学データを連携用に出力可能なこと。

（５）入学者の顔写真を、出願時のjpgデータを利用して学務システムに登録可能なこと。